



地獄の
拷問
にあなたを
かけた

試し読み版

18禁



死後の世界というものが、
まさかこんなにベタなものだとは
想像していなかった。



魂
形態

はあ、やっぱり俺は地獄行きですか...



作者注) 本来はとてつもなく恐ろしい
赤ら顔のおっさんですが、作者の画力が足りずに
表現できません。
読者の皆様におかれましては、ご自身の想像力で
補ってご覧ください。

閻魔大王

えーとね、君、
地獄に行ってももらえないだろうか？



ああ、いや...
地獄で罪を償って...という意味ではないんだ。

君は品行方正を絵に描いたような人生だったからね、
むしろ天国へ行く資格がある。

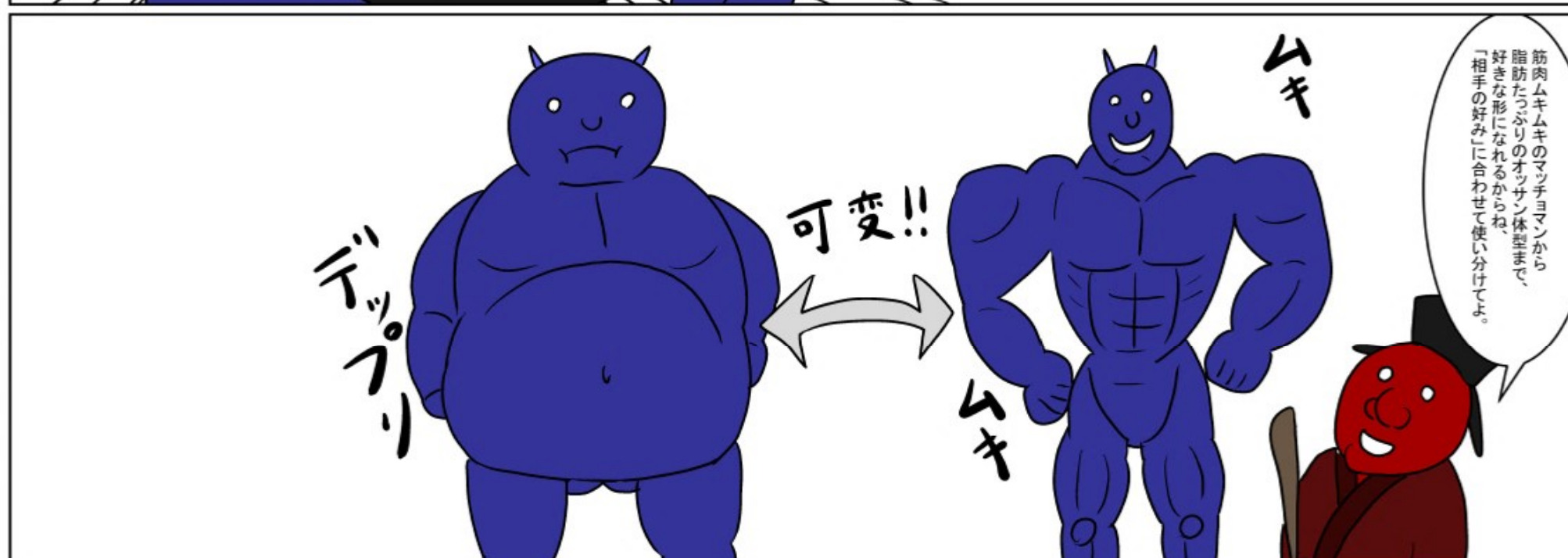
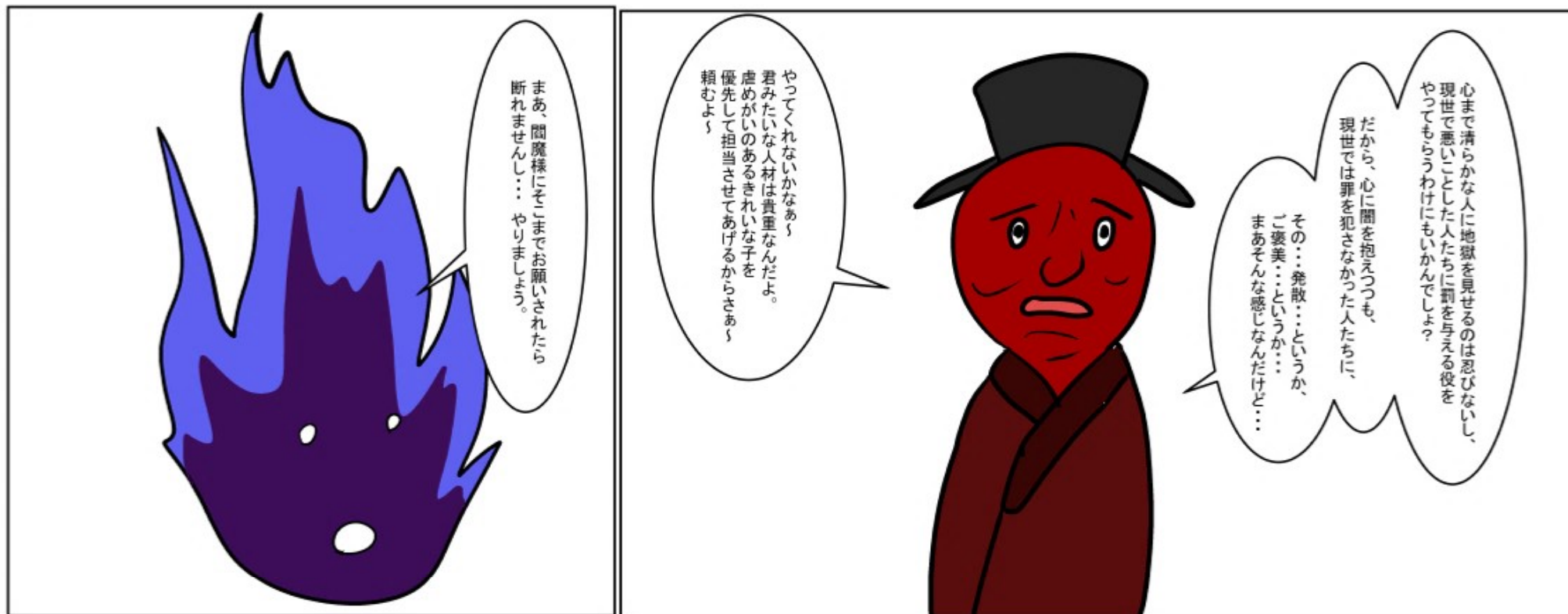
では天国へ行く資格がある...

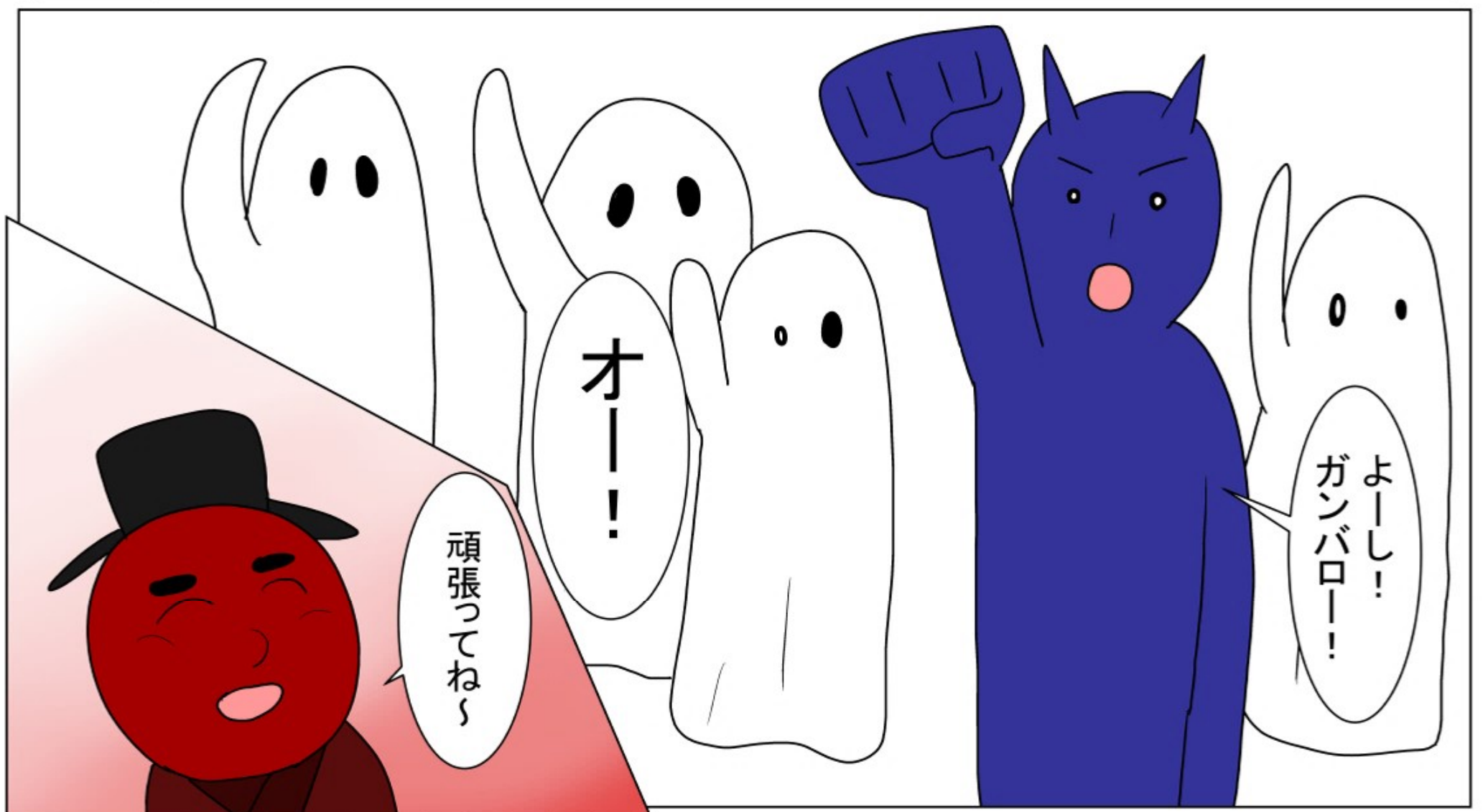
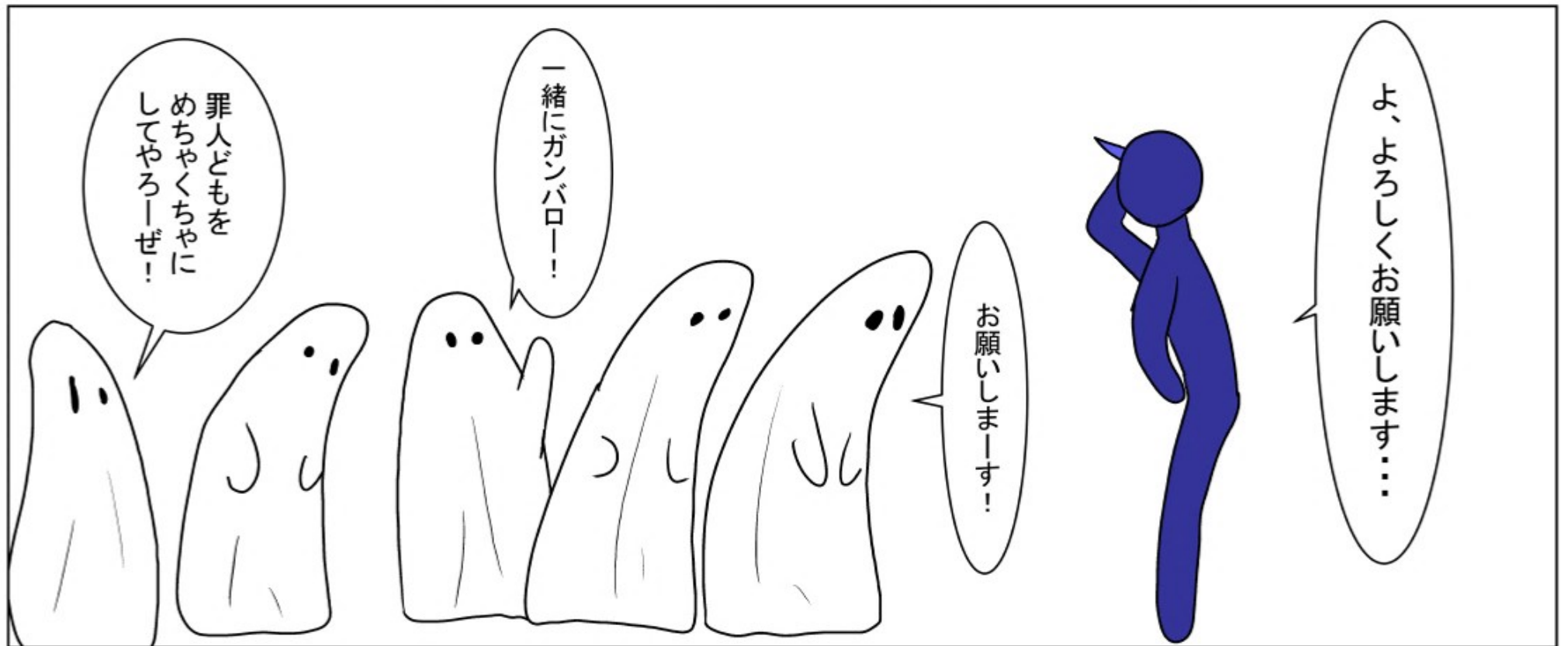
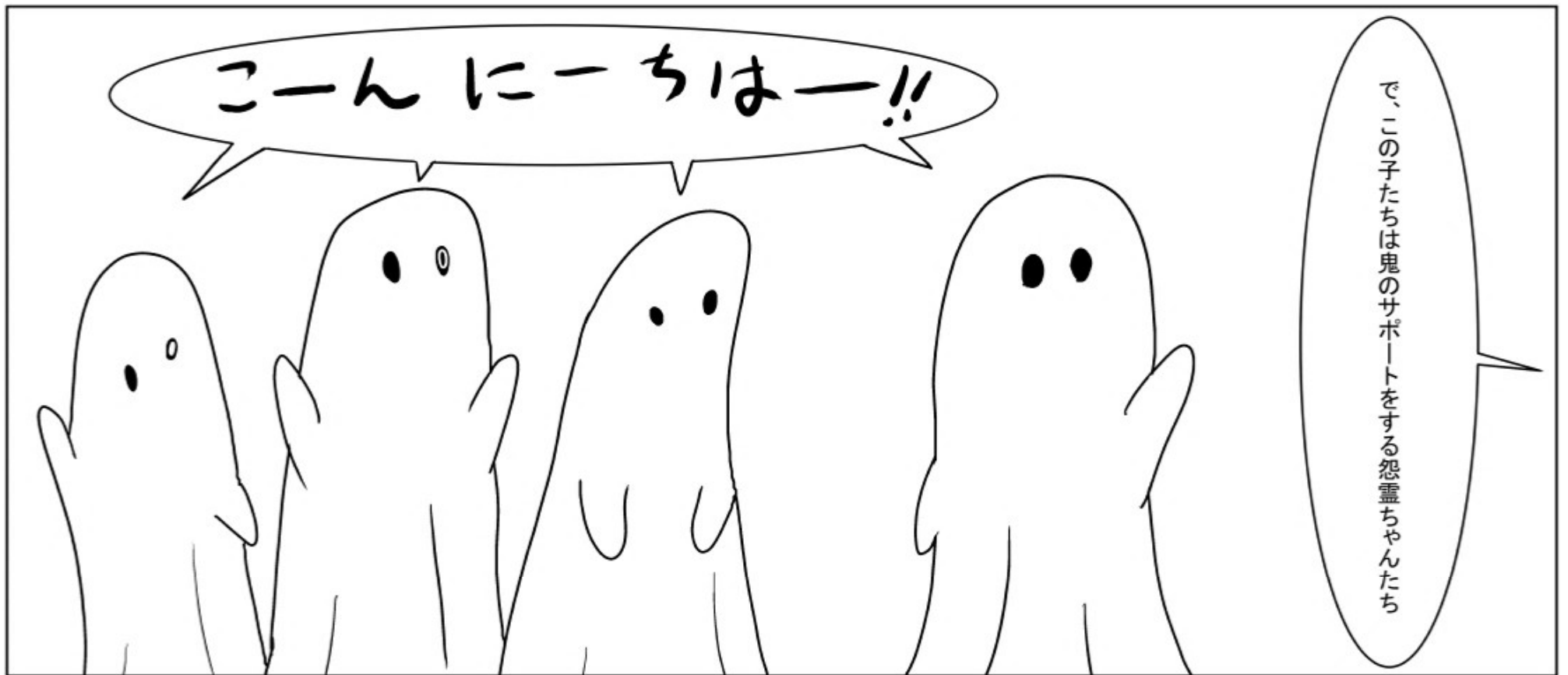
地獄で獄卒をやってみない？

獄卒...ですか？

そ、君のその心の闇を適度に発散する意味でもね、
地獄に送られる悪い女の子たちを、
君の手でお仕置きしてみたくない？

はあ、
そんなことして良いんでしょうか...？





よくわかる！

重要なのは
赤字部分だけだよ

読まなくてもいいよ。

作者が作ったどうでもいい
設定一覧だよ。

地獄ってなに？

- ・全宇宙を含んだ「世界」には、人間界(物質世界)と天国・地獄(精神世界)が存在するよ。
- ・人間界は、いわゆる「この世界」だけじゃなく、全ての「異世界」を含んでいるよ。
- ・天国と地獄には、人間界全ての「知恵ある者たち」の魂が、人間界で死んだ後やってくるよ。
- ・知恵があっても魂がないものは天国にも地獄にも来ないよ。
- ・知恵ある者たちの99.999%は人間と人間の亜種だよ。ごくごく稀に人間じゃない奴らもいるよ。
- ・人間界で罪を犯さなかった魂は天国へ行くよ。
- ・ぶっちゃけ、相当悪いことしなければだいたいみんな天国へ行けるよ。
- ・悪いことした人は地獄行きだよ。

地獄ってどんな場所？

- ・地獄では獄卒(鬼やおばけ)によって、罪人に拷問まがいの呵責が行われているよ。
- ・この責め苦は魂の修行だよ。悪い魂ほど受ける呵責はキツイものになるよ。
- ・修行が進み、魂から悪い部分が少なくなると、呵責は辛くなくなっていくよ。
- ・魂の修行は最低1兆年(地球時間換算)くらいから、100兆年を超える場合もあるよ。
- ・修行の際には疑似的な肉体が与えられるよ。
この肉体は物質界の人間の体とほとんど同じものだよ。
- ・肉体年齢は、在任が最も活動的だったころの年齢になるよ。
- ・罪人の肉体は、呵責を与える獄卒たちが自由に調整可能だよ。
子供にしたり、老人にしたり、性別まで変えることもできるよ。
- ・どれだけ肉体的破壊が与えられても、精神が発狂することはないよ。
(発狂は生存確立を高めるための身体防衛機能の一つだから、
すでに死んでる地獄では発生しないよ。)
- ・破壊された肉体は、獄卒の一存で治すことができるよ。
大きな痛みを連続で与えるために、怪我を即座に治す場合もあれば、
疼くような不快な痛みを長期間与えるために治さないこともあるよ。
- ・呵責の合間には多くの場合、獄卒たちが罪人をレイプするよ。
男も女も関係ないよ。



とりあえず、最初の一人はこちらです！

書類



おお！

エキゾチックな褐色巨乳美女！
めっちゃ好みなんですけどー！

こんな美人さんが地獄にくるんだ…

いったい何したの？

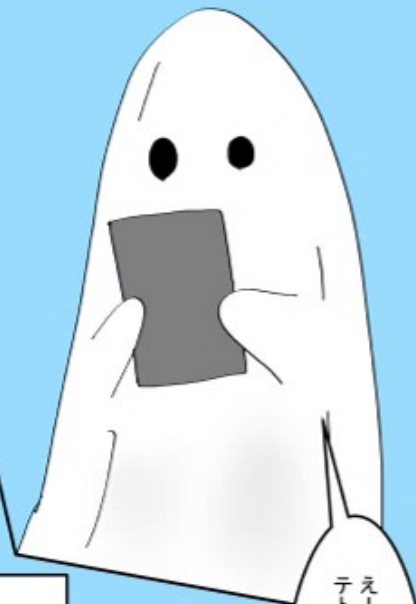




ウシャール王国 女王
テトウス・ウシャルタス

死亡年齢:42歳
死因:クーデターで処刑される
地獄での肉体年齢:29歳

地獄堕ちの主な罪状:大量殺人



えーと、ウシャール王国の女王様で、
テトウスさんって名前だっけ。

罪状はこんな感じですよ。

罪状詳細:

自身の若さを保つため、
幼い少女の血を貯めた風呂に入ったり、
少年から生きたまま睾丸を切り取って食べるという
猟奇的な行為を行っていた。
女王の権限を使用し、気に入らない家臣や国民を処刑したり、
自身の利益のみを追求した結果の明らかな失政によって、
多数の国民が餓死に追い込まれるなどした。
直接的殺人:200人超
処刑命令などによる間接的殺人:約4000人
失政による死者発生数:約25万人

うわっ！

ひでえーことやってんなあ…
とんでもない悪女じゃん…

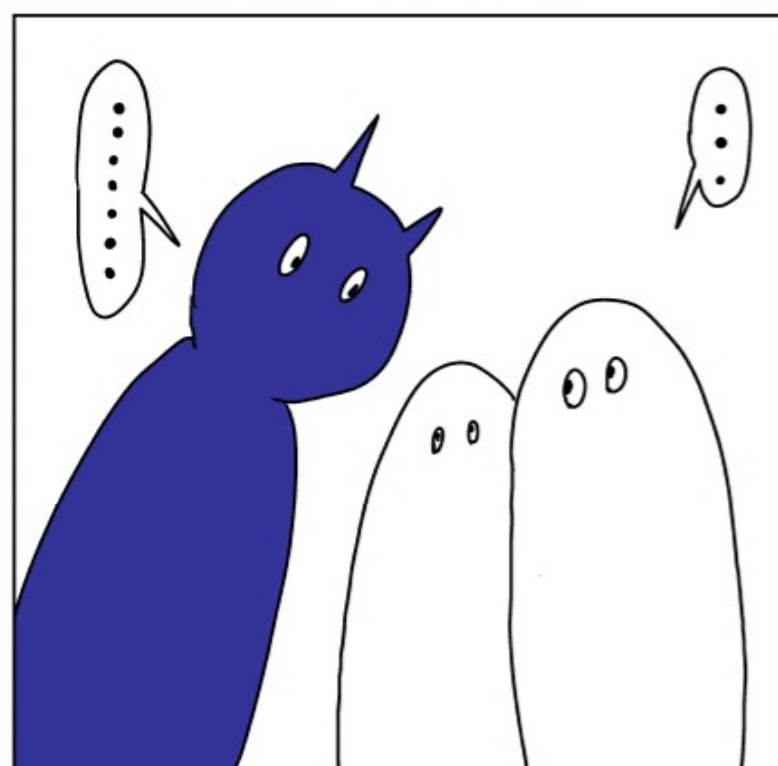
あれ？
でもウシャールなんて国、聞いたことないな…

地獄はいろんな世界から魂が来るから、
太郎さんとは違う世界の人かもしれないですね。

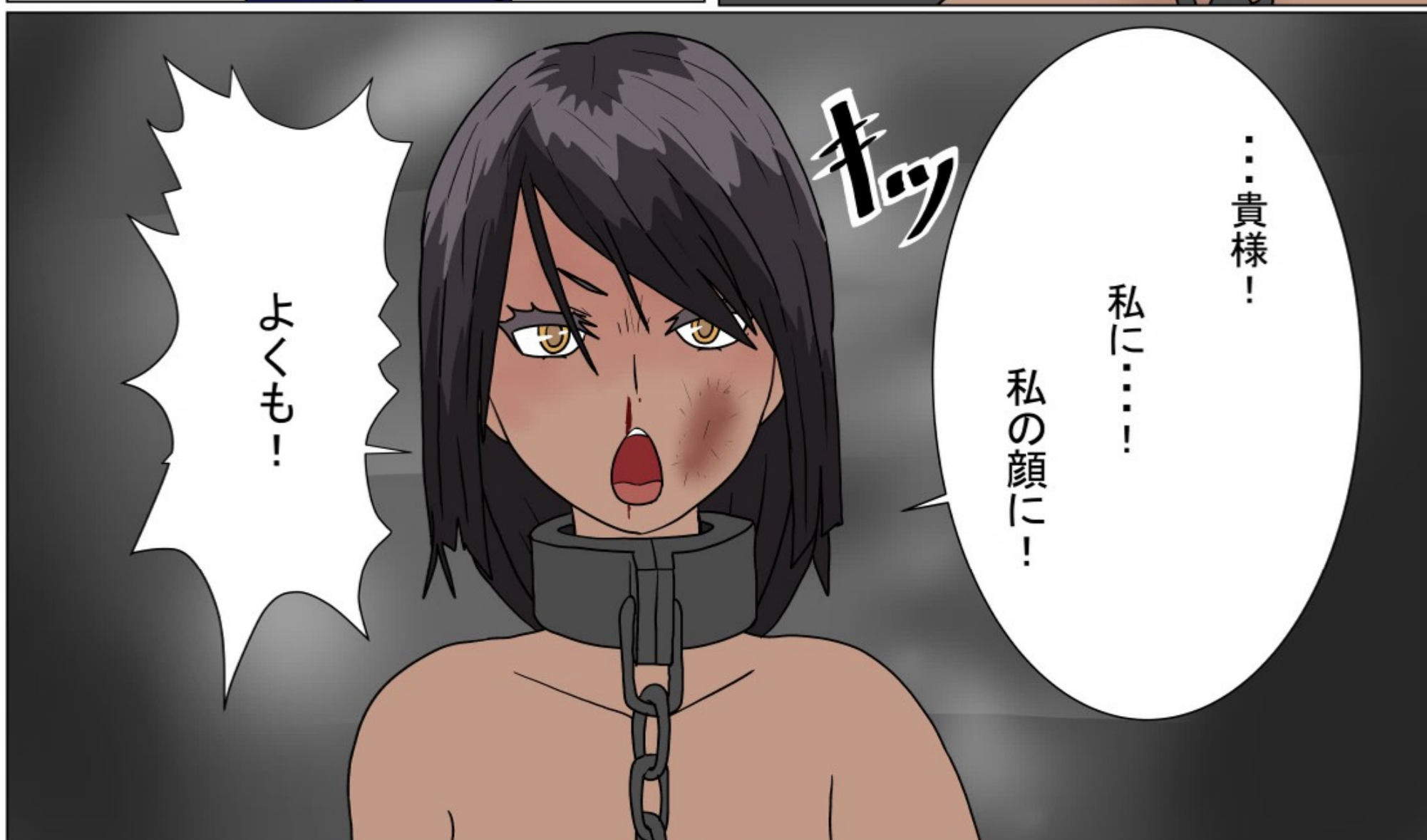
なるほどね、
そういうことか。

でも女王様が地獄堕ちから、
これはお仕置きが捗っちゃうな











おい！
なんだこれは！

離せ！
離さぬか！

こんなことをして許されると思っているのか？！
おい！聞いているのか？！

おーい、そろそろ起きろ

はいはい、もういいよ
こっちも勝手に進めるからさ

ストゥ

まずはこいつを使うぞ

な……!

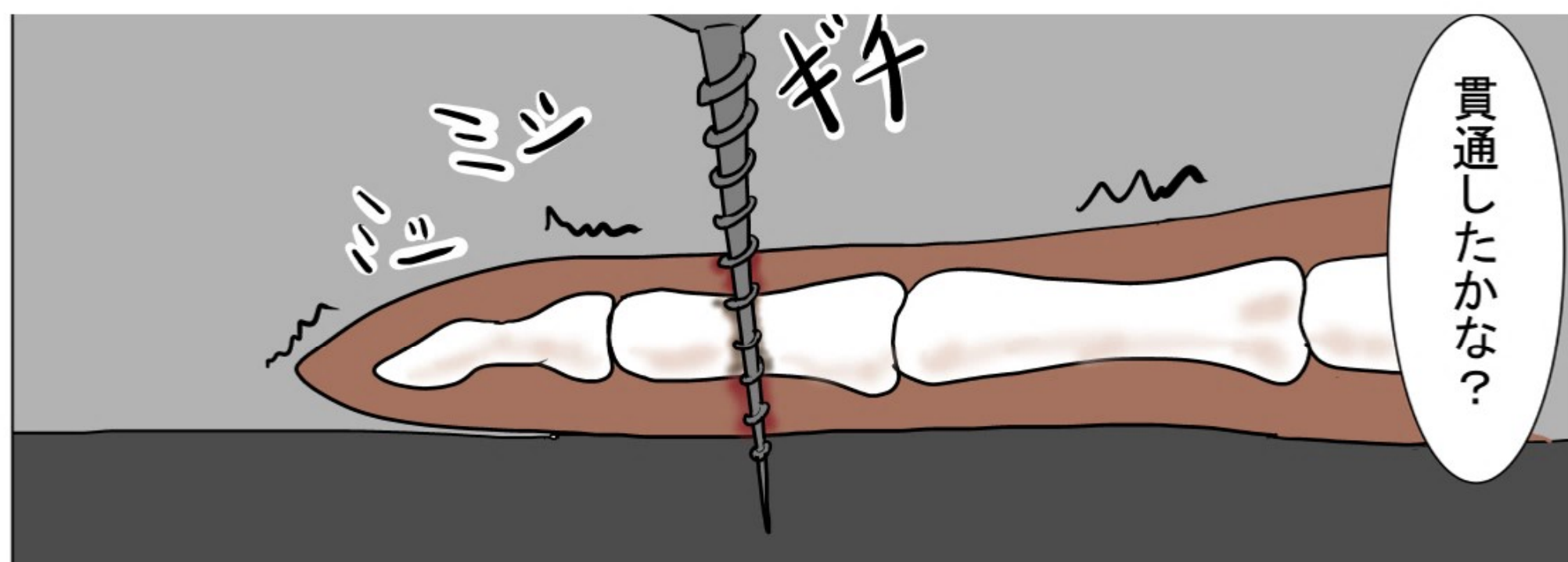
なんだそれは!

おい! 何をする気だ!?

待て!







こんな...
こんなこと...

許さん！

許さんぞ！

殺してやる！
もつとも無残な方法で殺す！

やめろ！手をどけろ！

フル
フル

フル
フル

誰が！

お前らなんかに！

あのね、いい加減立場をわきまえてよ。
あんたは罰を受けるためにここにいるの。
ギヤーギヤーうるさくわめいてないで、
さつさと今まで殺した人たちに謝罪しなよ。
あと、やめてほしかったら
丁寧をお願いするのが筋なんじゃない？

やめろ

ズン







電動だとい発でねじが貫通しちゃうでしょ？
ゆっくりゆっくりやるから苦痛が最大になるんだよ。



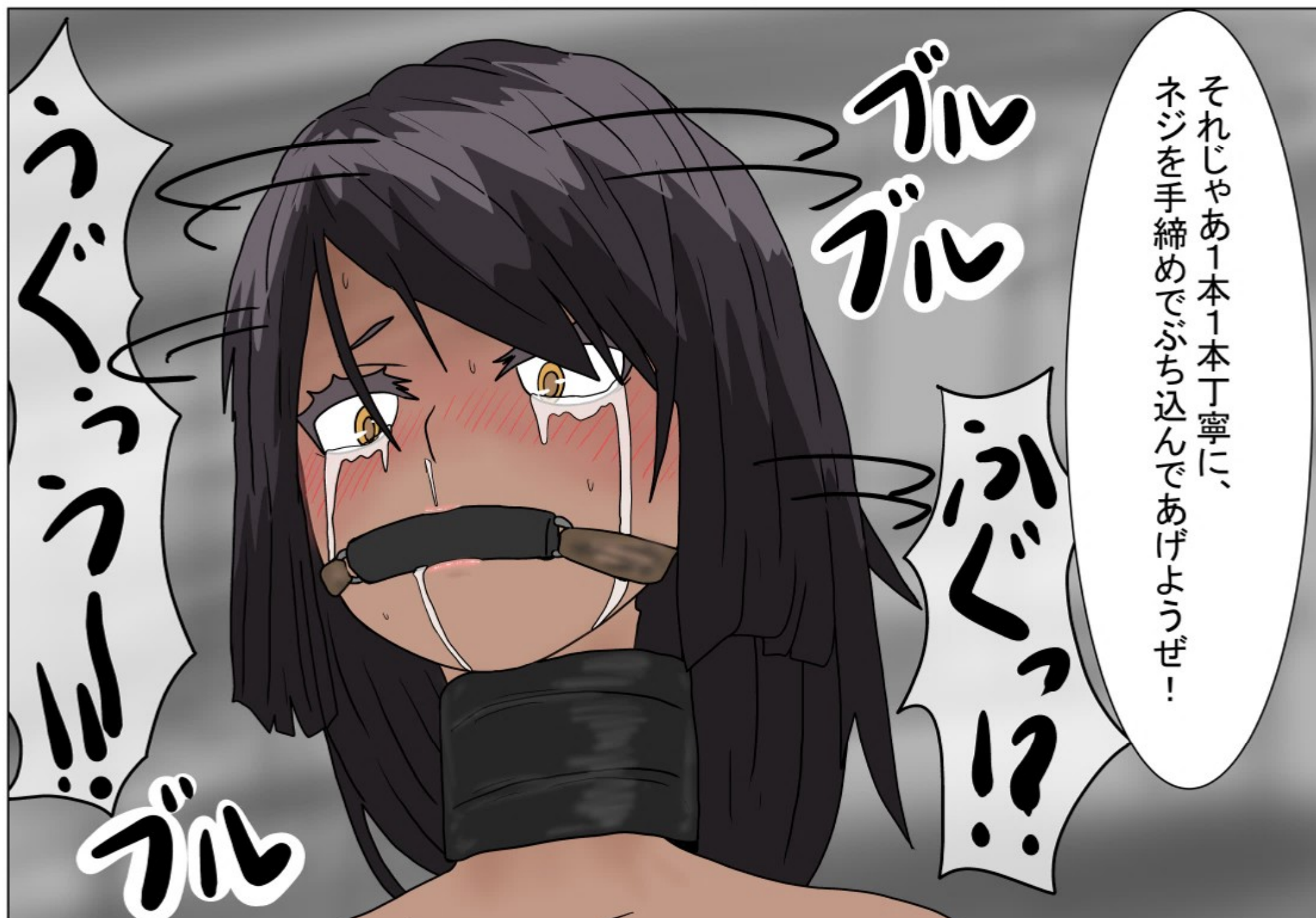
電動ドライバーとかあるけど使わないんですか？

※
人間界にあるものは
だいたい地獄にあるよ！



す、すげえ……

さすが閻魔様に
直でスカウトされた方は
言うことが違うぜ！

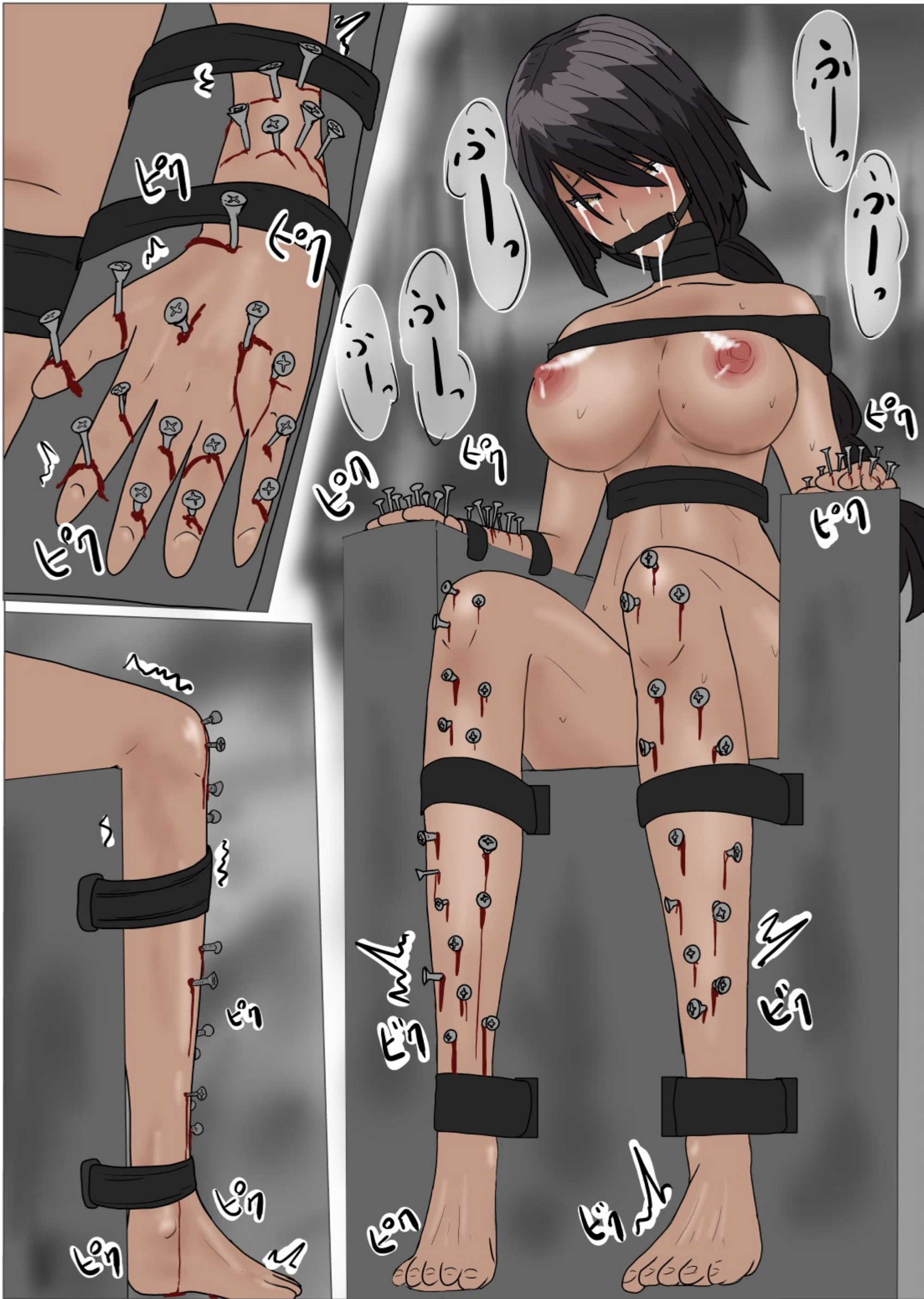


それじゃあ1本1本丁寧に、
ネジを手締めでぶち込んであげようぜ！

ブル
ブル

うぐうぐう!!

ブル



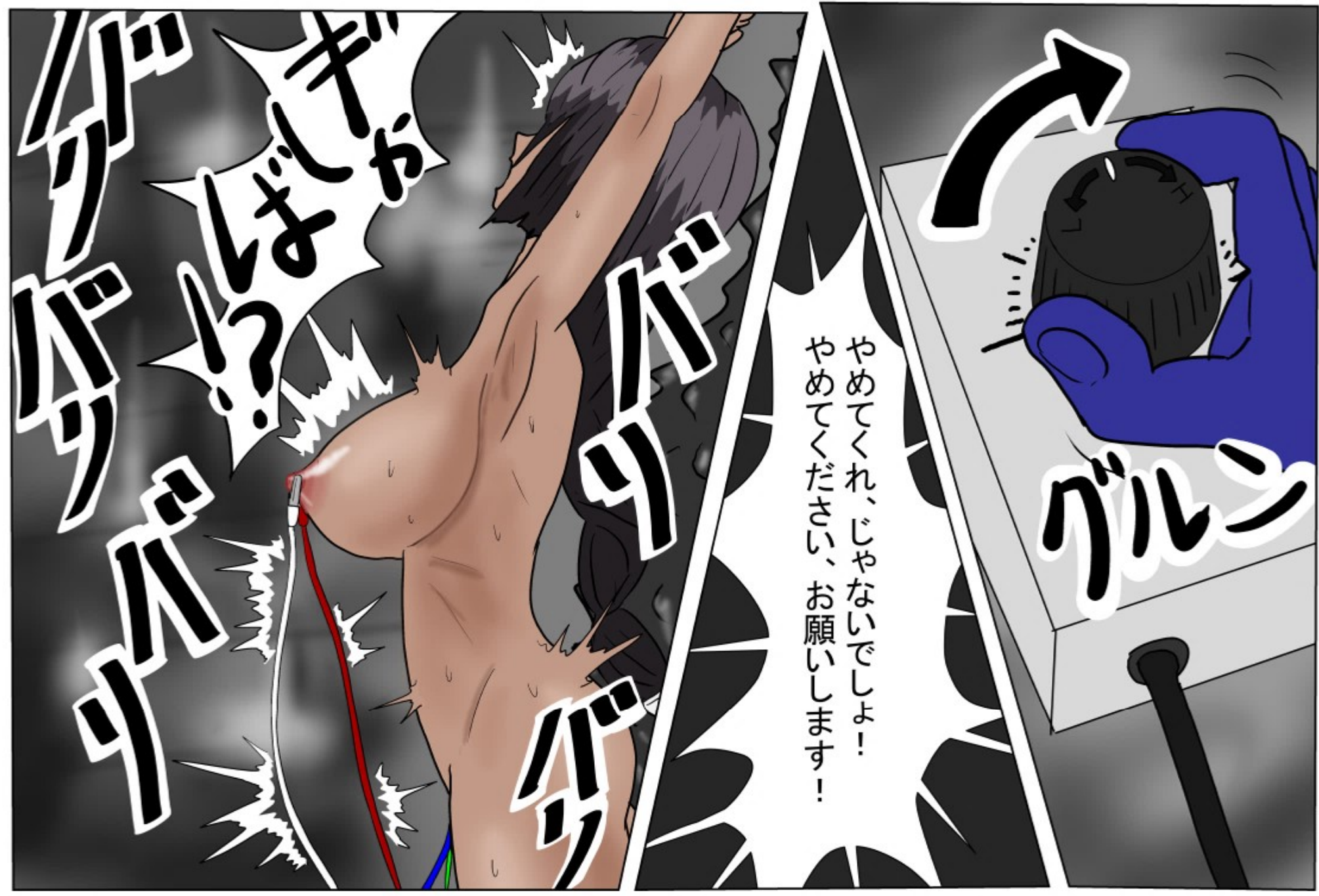






いいか？
謝罪の仕方とお願いの仕方を教えてやるから、
言う通りに繰り返すんだぞ。

なめた態度とつたら
痛い目見るから気を付けろよ。







声小ささい！
気持ち込めろよ！
そんな声で伝わるか！
腹から声出せ！



人を殺してごめんなさい！

1回目

人を殺してごめんなさい！

2回目

人を殺してごめんなさい！

3回目

人を殺してごめんなさい！

4回目

声小さくなってきたぞ！



約500回目……

ひと……を……

ニーゼエエ——して、

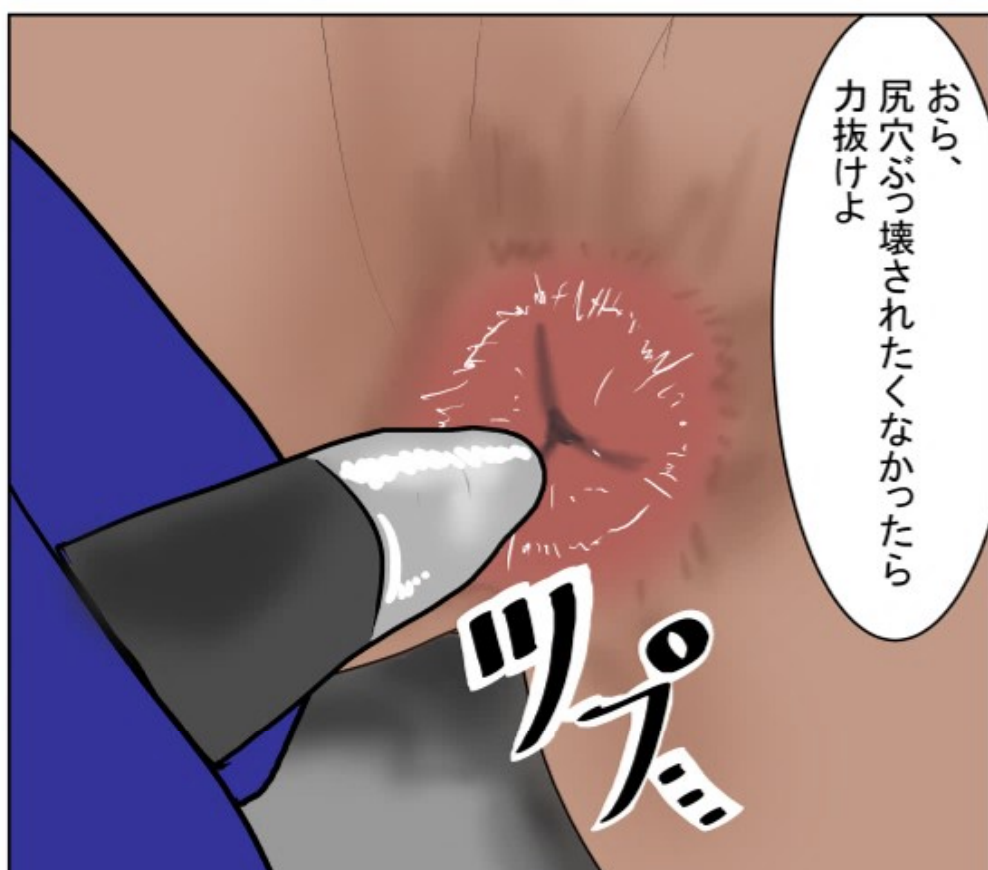
ゴボオーめ——さい……







これ、なんだと思う？
唐辛子を油に煮だして、お酢に混ぜたものだよ。
こいつを腹いっぱい詰めてやるからな。





トイレに……
トイレに行かせて……ください……

おなかが……
痛いです……

出させてくだ……さい……

お願い……します……!!

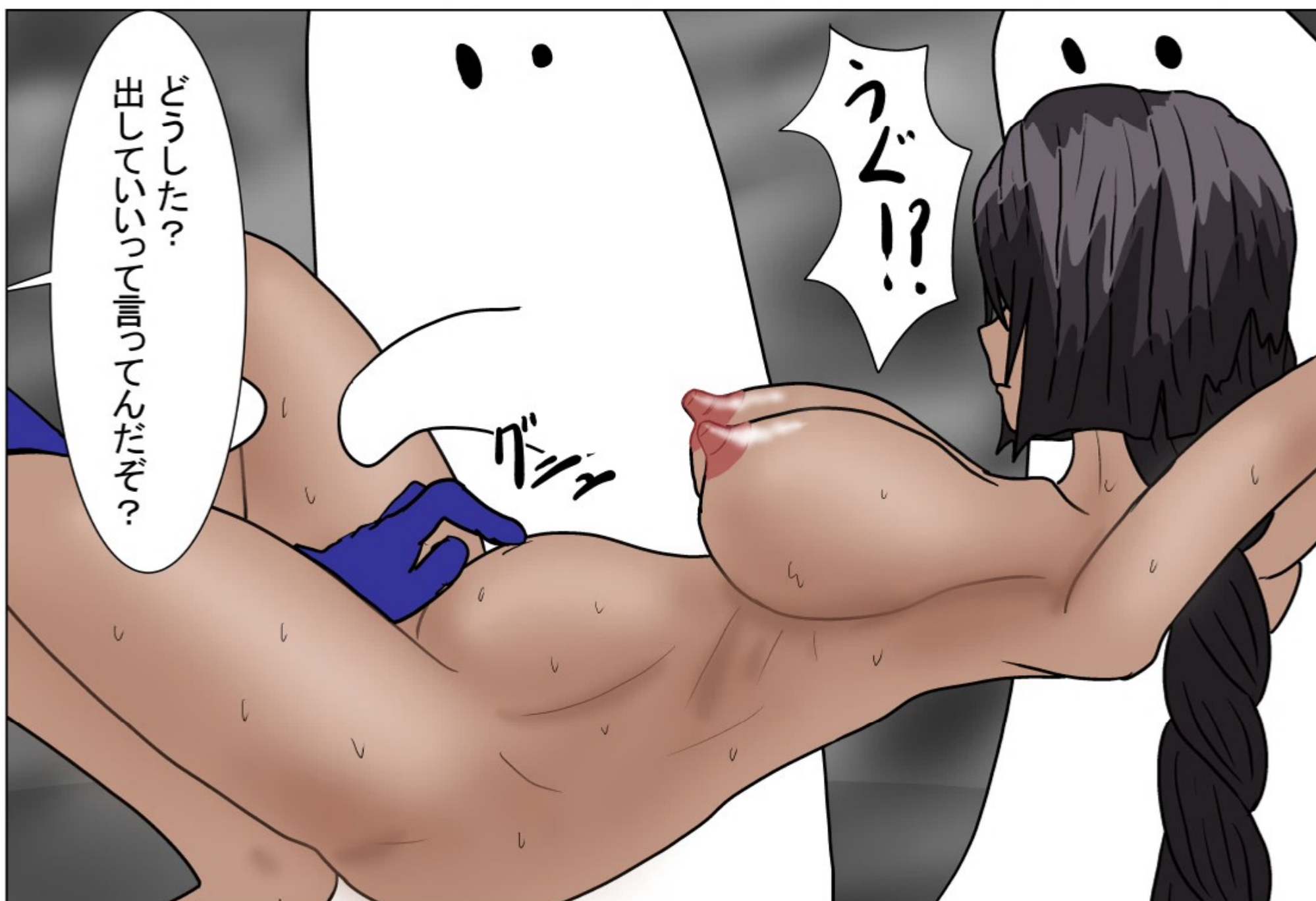
ギゅるるる……

ゴロゴロ

ぐん
ぐん

ぎゅっ











おいおいなんだよ

女王様、ケツはゆるゆるだけど
マンコの具合は
中々いいじゃねーか！

ボクッ

ボクッ

ボクッ

マンコ使ってしつかり俺たちに奉仕すれば、
魂の修行もスムーズに進むかもな！

あ

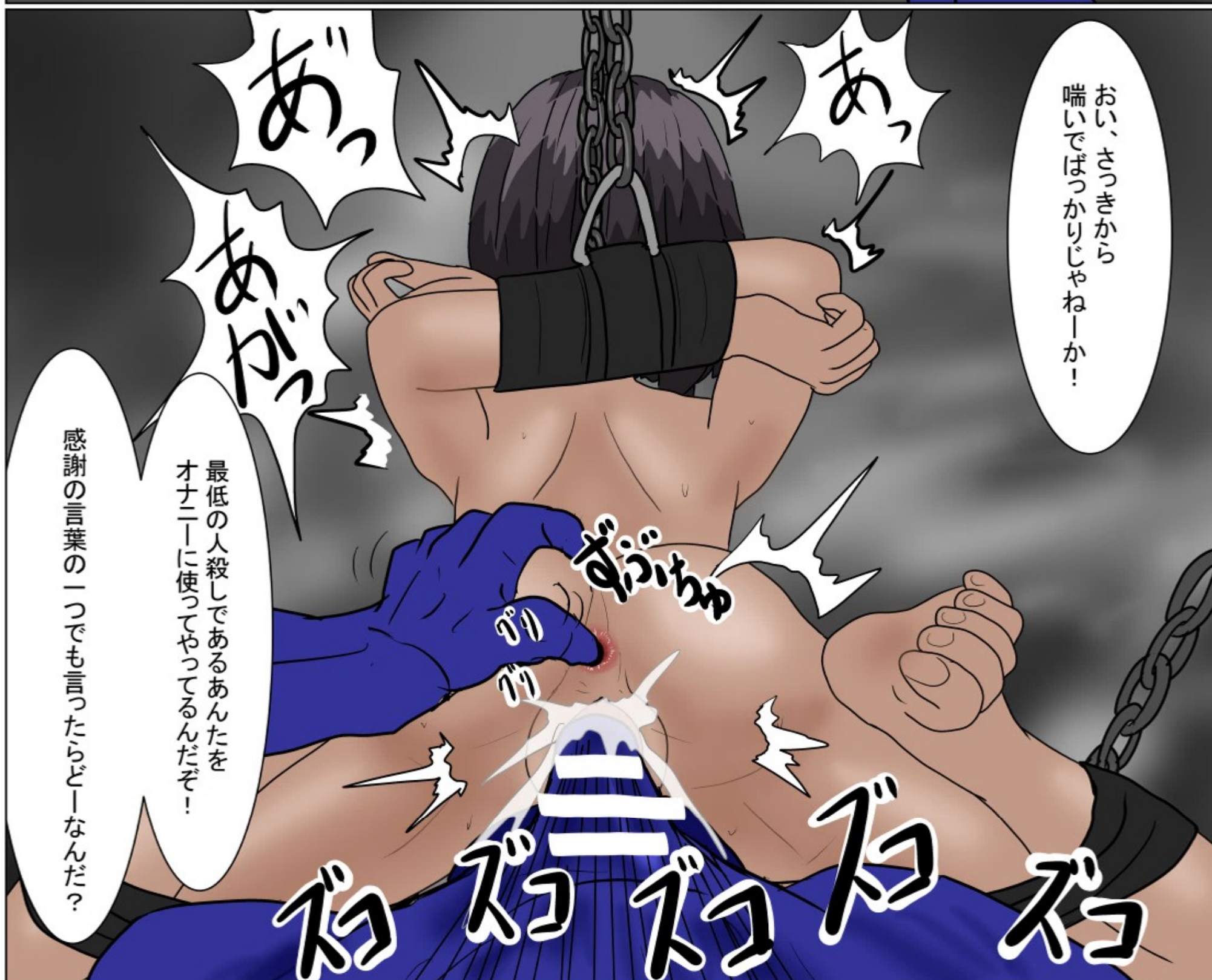
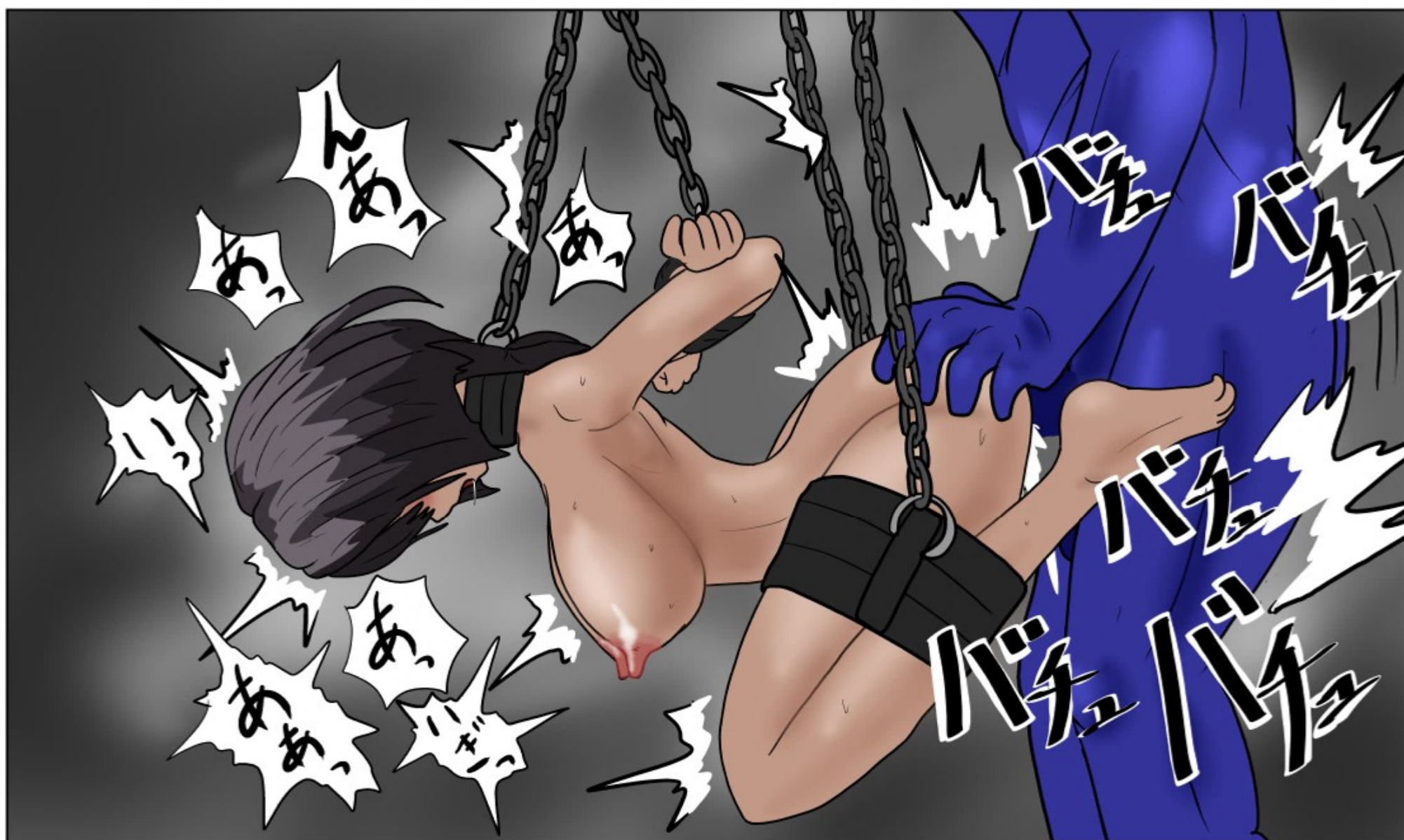
あ

あが

がは

あ





おい！聞いてんのか？！

はい！

「めんなさい」

使っていたとき

ありがとうございました！

ありがとうございました！





うんうん、素直にしていれば中々可愛いじゃん。

従順な罪人は極端にひどい目には合わずに済むからねえ

ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ





いやー、俺ってば優しい男だからなあ……
従順な女の子には優しくしてあげたいんだけど、
地獄の責め苦だから
ちよつと痛めの責めもしなきゃいけないんだよなあ……
いやー…… 良心が痛むなあ……

な、俺って優しいだろ？

あ

あ

あ

あ

あ

はい！ 優しいです！

ありがとうございます！

ありがとうございます！

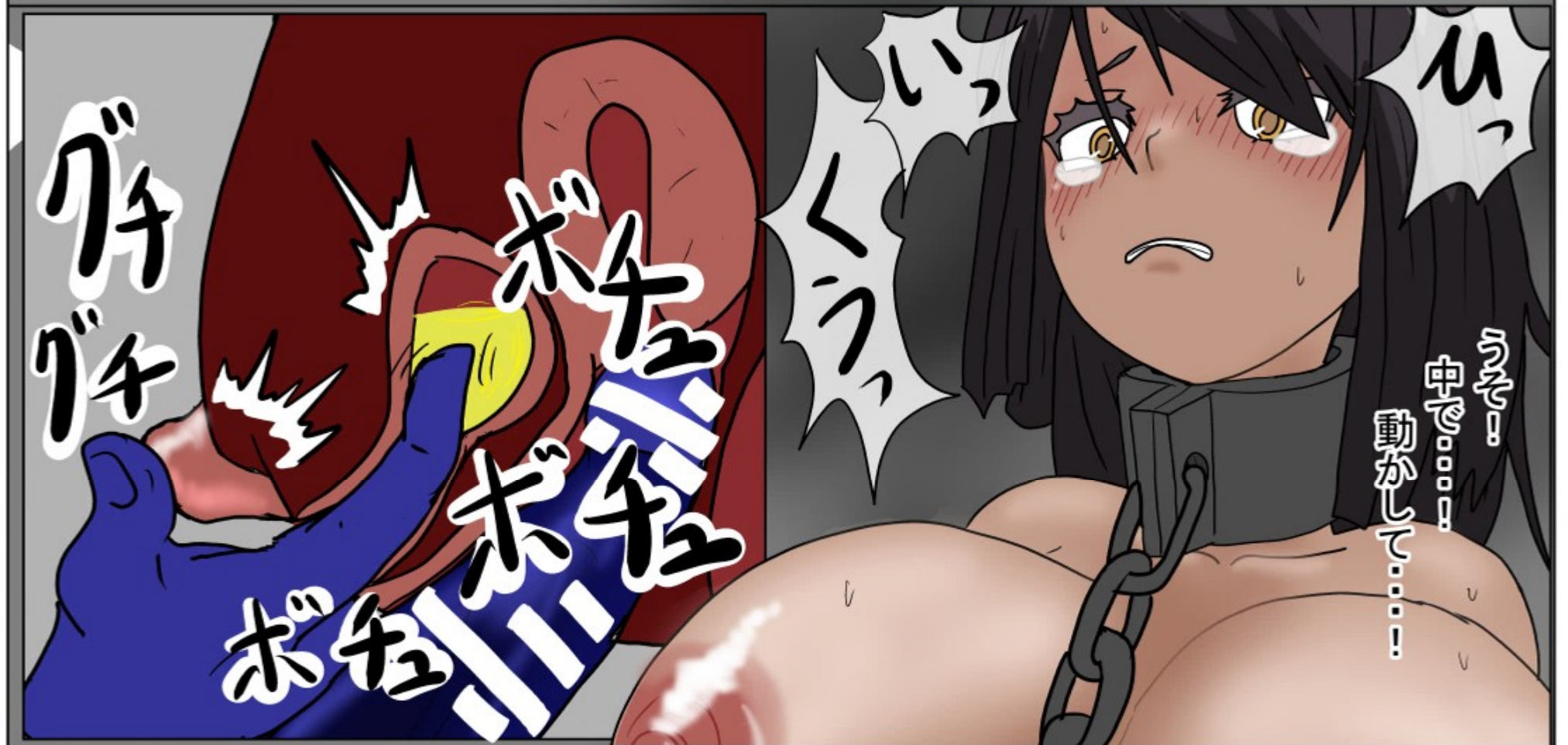
んんん

ん

ん

ん







がー！！

「めんなさい！
「めんなさい！」

本当に悪いと思っています！

私が悪いです！
私は悪い人間です！

口では何とでも言えるよな！

本当は悪いと思ってないんだろ！

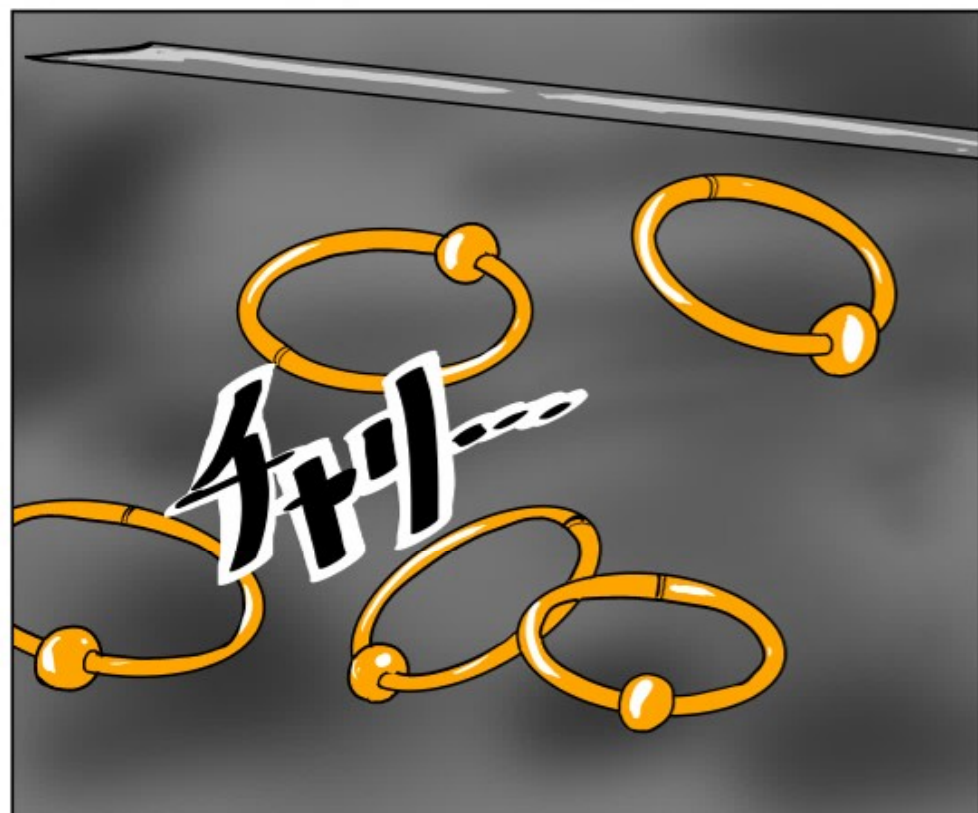
だから謝罪より先にイイワケが出るんだよ！

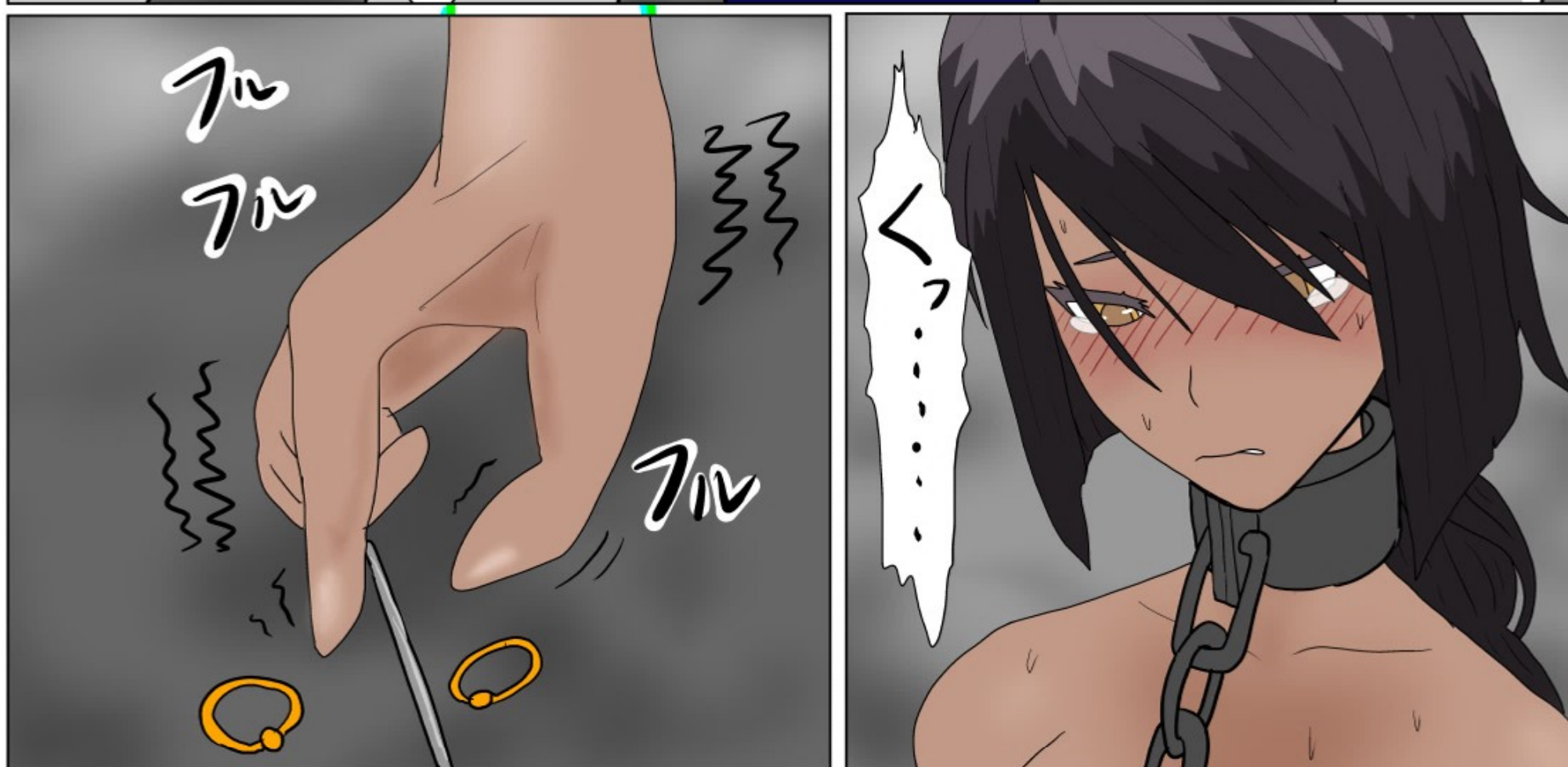
「めんなさい！

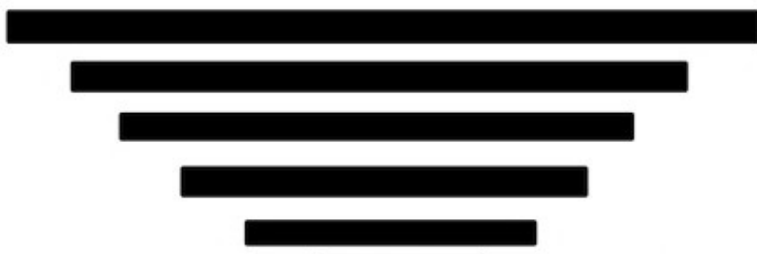
「めんなさい！

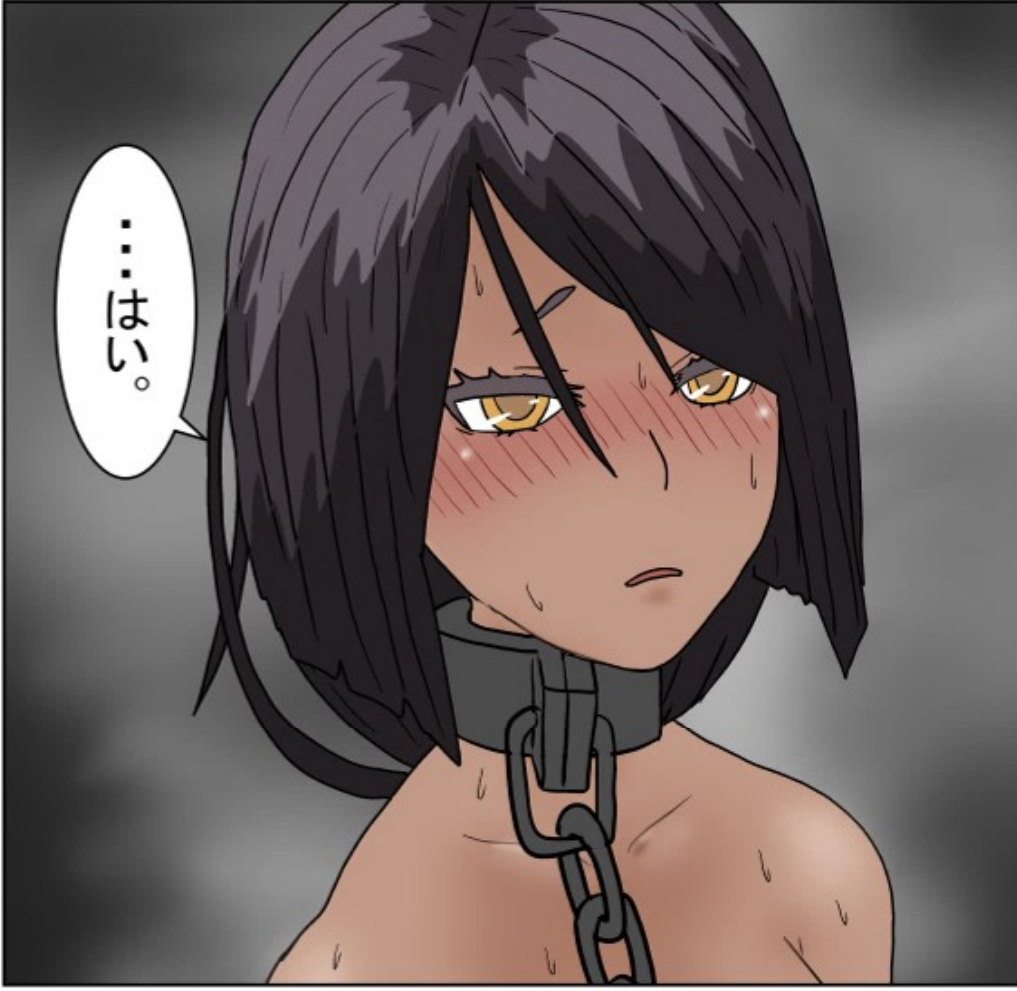
がー がー がー

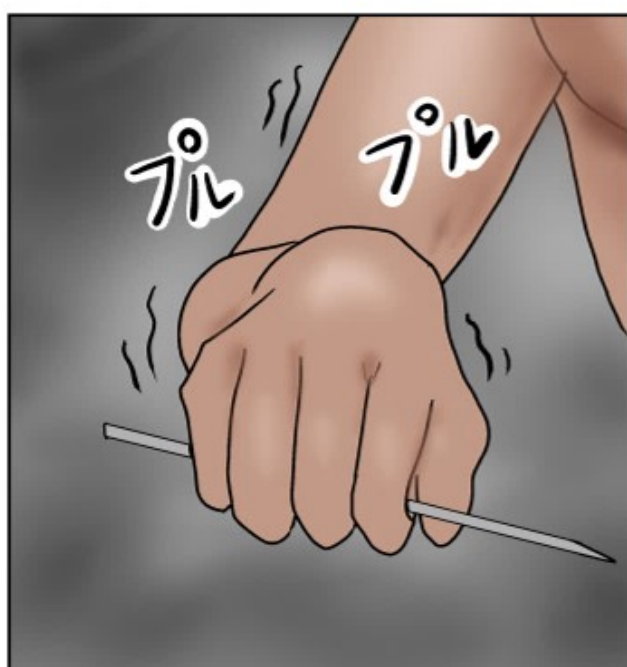


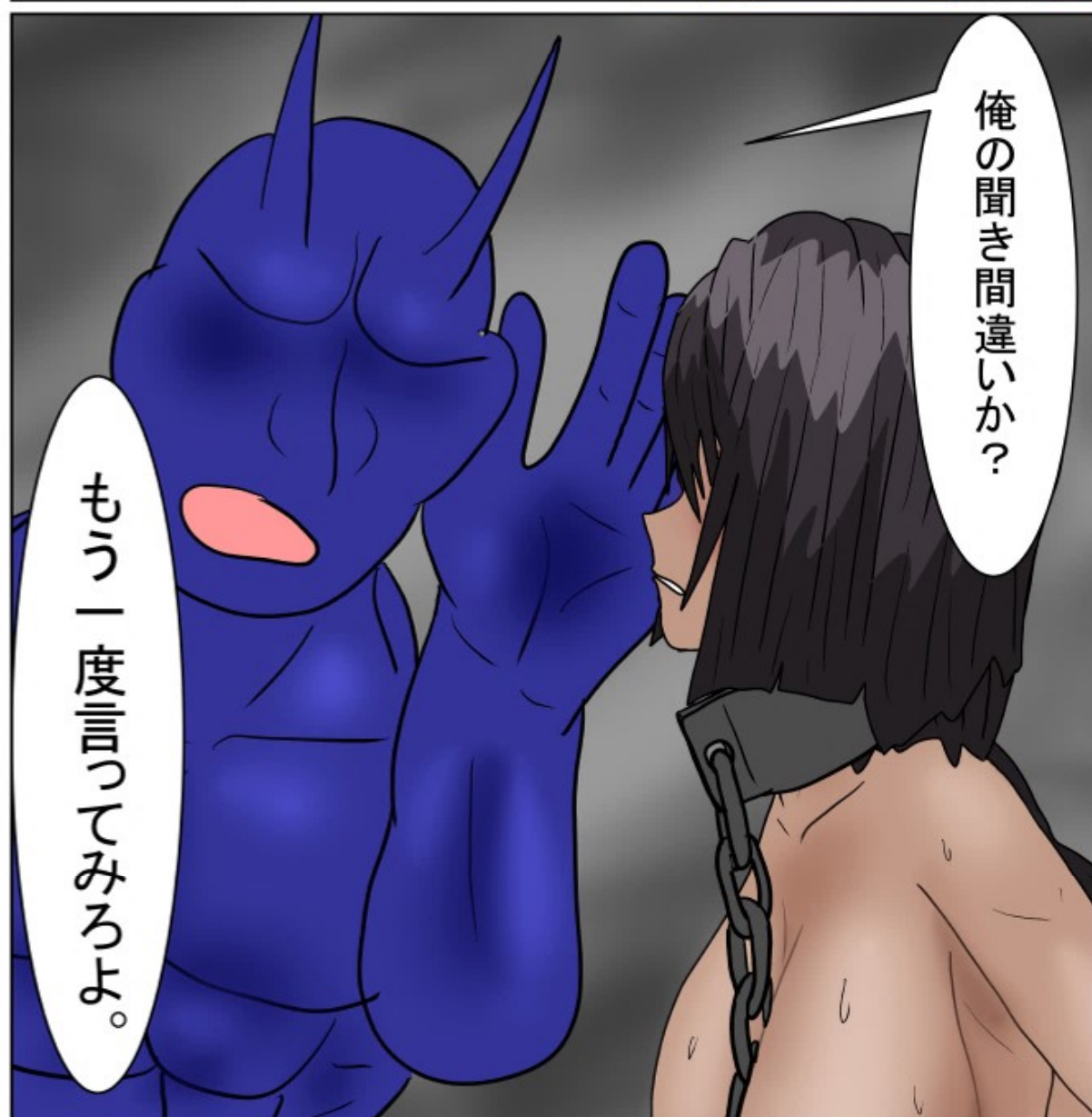














耳が遠いのか？
くそ野郎！

もう貴様の命令なんて聞かないと言ったんだ！
ピアスなんか貴様のチンコにぶっ刺しておけ！



はあ、まったく...
最近はこちらと反省したかと思
って可愛がってやってたのに...

ま、大量殺人するような
極悪養豚野郎が
そんな簡単に
心を入れ替えるわけねーわな。

言葉遣いも汚いし、
結局中身は腐りきってるんだな。

口先だけの謝罪に
耳を貸してやった俺が
間違ってたわ。

おい、養豚。

いや、豚って名前ももったいねえな。

おめーはこれから家畜以下、
チンコ扱くためのだけの
ザーメン便器にしてやるよ。

おい、どうだ？ 糞便器。
手足を先っぽから削り取られていくのは楽しいか？

素直にメス豚やってれば、
せいぜい体中ピアスだらけになる程度で済んだのによ。

無駄にイキツたせいで
手足もがれた便器にされちまうんだぞ。

その痛みをしっかりと味わって
反省するんだな。





小さくまとまって
いい感じになったじゃねえか。

あれ？
どうした、元気ないぞ。

また反抗してみろよ。

ま、お仕置きの本番は
これからだからな

覚悟しろよ。

凌辱はまだまだまだまだ続きます…
続きが気になった方は、

製品版の購入をお願いいたします。

